

## アジア政経学会 2013年度第9回理事会 議事録

1. 日時 2014年3月25日より3月28日
2. 会場 稟議書による
3. 理事・監事総数 理事24名、監事2名
4. 議事

2月8日に開催予定であった第9回理事会が前例のない大雪のため中止になったところ、藤原千春（通称：竹中千春）理事長は定款第32条第2項に基づき、稟議書によって第9回理事会を開催することを決定し、同理事会で審議予定であった議案の審議を各理事に諮った。議事録署名人には、丸川理事、川島理事、佐藤監事、滝口監事が指名され、いずれの理事・監事もこれを承認した。

### ◆議案1. 『アジア研究』のJ-STAGE 登載に関わる支出の提案に関して

丸川理事より、『アジア研究』のJ-STAGE への登載に関して、以下のように提案された。

(1) ネット上のPDF があるのみの巻号（第1巻第1号～第46巻第4号）170冊に関しては、学会で直接アルバイトを雇用して作業する。

(2) 第47巻第1号～第50巻第2号14冊は後日検討する。

(3) 第50巻第3号～第58巻第3号31冊は業者に依頼する。業者は現在選定中であり、平成26年度の作業となる。

(4) 上記の作業に関する経費としては、以下のように見積る

① 1冊につき所要時間2時間×170冊＝340時間×時給1000円＝総計34万円

② 第47巻第1号～第50巻第2号14冊：後日検討する。

③ 第50巻第3号～第58巻第3号31冊：業者の見積もり待ち

\*①と②あわせて50万円以内と見込んでいる。

(5) 1の部分については、登載に関わる技術的課題を掌握し、2と3に関わる業者との交渉に備えるため、2月から作業を始めており、2014年3月24日現在までにアルバイトに以下の作業を実施させたところ、その経費を平成25年度の予算から支出する。

① 作業内容：第1巻第1号～第7巻第4号の登載作業計27冊

② アルバイト賃金：(27冊×2時間+オリエンテーション2時間)×時給1000円  
＝56000円

### ◆議案2. 2014年度事業計画書（案）について

川島理事より、2014年度事業計画に関して、以下のように提案された。

(1) 一般財団法人への移行後の適正な組織運営と業務の遂行

①一般財団法人移行後の組織運営と業務の遂行

\*定款に沿って適正な組織運営を行い、一般財団法人としての運営体制をいっそう強固な

ものとする。

\*さらなる制度的整備および内規整備に努める。

\*ホームページやメーリングリストを活用して、学会に関する情報の公開をよりいっそう進めると同時に、会員に関する個人情報のより厳格な管理体制を確立する。

#### (2) 大会、研究会の開催

研究担当理事を中心に、研究企画委員会での検討を踏まえ、以下の要領で開催する。

①全国大会〔開催日：5月31日(土)・6月1日(日)、主催校：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス〕

②東日本大会〔開催日：10月18日(土)、主催校：防衛大学校〕

③西日本大会〔開催日：11月29日(土)、主催校：京都大学〕

\*いずれの大会においても、日本のアジア研究にとり意義ある企画をたてるとともに、ホームページを活用し、若手会員の自由論題における報告の機会の拡充と、その成果の会員への還元を図る。

\*大会開催時に託児室を設置し、小さな子どもを持つ会員が参加しやすいようにする。

\*北海道、東北、北陸、中国・四国、九州地区の会員との研究交流の活性化を図る。

#### (3) 機関誌『アジア研究』の発行

①『アジア研究』は年4回、合併号なども活用しながら、期日通りの発行に努める。また、書評欄をより充実したものにするよう努める。

②J-STAGEにおけるバックナンバーのデジタル・コンテンツの提供を推進するなど、『アジア研究』のいっそう社会への還元をはかる。

#### (4) その他の研究活動・研究普及活動

①大学等教育研究機関、他の地域研究関連学会、グローバルCOEアジア関連事業、アジア研究に関する拠点事業などとの連携を強化し、共催のかたちによる事業推進の可能性も検討する。

②定例研究会を通じて研究交流をよりいっそう活性化させる。

#### (5) 会員満足度の向上を目指す工夫

①ニューズレターとホームページを活用し、会員の情報への **accessibility** 向上を目指す。具体的には、ホームページの改善(学会誌バックナンバーの閲覧環境の改善、英語版ホームページの充実など)を図り、会員との交流に努める。

②会員名簿を作成することで、会員交流のいっそうの充実をはかる。

#### (6) 学会活動における国際化・グローバル化への対応と調整

①会員の業績、学会の活動の英文化をよりいっそう進める。

②全国大会での「国際シンポジウム・セッション」を継続し、さらに充実させる。

③ドイツ・アジア学会(Deutsche Gesellschaft für Asienkunde)との国際交流企画、日独ベルリンセンター主催の日独シンポジウム、および韓国・アジア経済共同体フォーラム(Asia Economic Community Forum)へのパネル参加など、海外の研究機関や学会との交

流を積極的に検討し、本学会のポジションを明確にしながら、ネットワークを広げていく。

(7) 財務体制の改善

- ①一般財団法人の枠組みに沿った適正な財務処理の体制を維持する。
- ②財務状況は会費収入の減少傾向がみられるため、会員の増加と会費の徴収に努める。同時に、会費収入以外の財源の確保も模索する。

◆議案3. 2014 年度予算書について

小嶋理事より、添付資料の通り、平成 25 年度の決算報告、及び平成 26 年度の予算の提案が行われた。

以 上